新闻热点
ニュースの言葉

生成式人工智能/聊天 GPT（ChatGPT）
生成ＡＩ／チャットＧＰＴ（ChatGPT）

自 20 世纪 90 年代中期互联网（网络）渗透到日常生活以来已有近 30 年了，这期间网络一直都在不断储存着来自世界各地的各种信息，从个人层面的信息到新闻、专业知识和政府层面的信息，无所不有。

然后我们基于这些大量的储存信息，以“网络搜索”的方式取代查词典来获取所需要的信息和知识。然而，搜索结果也只是呈现出一个玉石混淆的素材，而不是用户想要完成的文本或文章。换句话说，完成最终文本的工作还是得由人来做。如今这一认知将被推翻。

这一划时代的发明就是“生成式人工智能”。“生成式 AI”中的 AI 是“artificial intelligence（人工知能）”的缩写，而“生成式人工智能”指的是基于互联网上的大量信息，能在短时间内响应用户的指令和提问，并创建新的文本、图像、音乐、视频等这样的一种技术。有人将这种技术的出现称作是“百年一遇的工业革命”。

目前，世界各地的公司都在竞相开发这种生成式人工智能产品。具有代表性的就是美国微软的"Bing"和谷歌的"Bard"，以及目前最受关注的开放人工智能公司的“聊天 GPT"，它是"Chat Generative Pre-trained Transformer "的缩写，直译过来就是“可生成的预训练变换器”的意思。也被称为“文本生成模式”。它能做些什么呢？它不仅能答疑，还能创作、纠正和校对，归纳大量文本，撰写剧本、诗歌和小说。据说此外，它还能编写 PC 程序和电子表格软件函数。而且这个聊天 GPT 从网上新闻和其它来源收集了数千亿至数万亿的海量词汇，可以从其广泛而丰富

インターネット（ネット）利用が日常生活に浸透してきた 1990年代中盤からおよそ 30 年、ネットの中には個人レベルの情報からニュース、専門的な知識、政府レベルの情報まで世界中のあらゆる情報が蓄積され続けてきました。

そして私たちは、この蓄積された巨大な情報を元に、「ネット検索」という形で辞書替わりに利用しています。しかし、検索結果は利用者が完成させたい記事や文章ではなく、玉石混淆の素材として提示されるだけでした。つまり最終的な文章の完成は人間にしかできない仕事でした。それが今覆されようとしています。

この画期的な発明が「生成 AI」なのです。「生成 AI」の AI は「Artificial Intelligence（人工知能）」の略で、「生成 AI」とは、ネット上の大量な情報をベースに、利用者の指示や質問に応答して、文章、画像、音楽、動画などを短時間で新たに作り出すことができる技術のことです。この技術の登場を「100 年に一度の産業革命だ」と言う人もいます。

現在、この生成 AI の商品開発を世界の企業が競って行っています。代表的なものがアメリカのマイクロソフト社の「Bing」、グーグル社の「Bard」、そして今一番注目を浴びているのがオープンＡＩ社の「チャット GPT」です。これは「Chat Generative Pre-trained Transformer」の略語で、直訳すると「生成可能な事前学習済み変換器」という意味です。「文章生成モデル」とも言われています。どんなことができるかというと、質問に対する回答だけでなく、文章の作成や添削、校正、膨大な文章の要約、脚本

的词汇中选出非常自然的词语来表达。

然而，由于收集到的网上信息中存有大量假新闻和不正确的信息，那么由聊天GPT生成的信息中自然也会参杂一些错误信息，因此必须对其答案进行检查核实。据说今后随着用户数量的增加和错误信息的纠正，人工智能会更加深入学习，其答案的准确度也将会得到提高。但是，在目前情况下，由人工智能生成的假新闻可能会在有意或无意之中被传播扩散。对此我们需要格外小心。此外，个人信息泄露和版权侵犯也被视为问题，不容忽视。

这个聊天 GPT 于 2022 年 11 月开始提供服务，仅在两个月的时间内用户量就突破了 1 亿。面对如此迅速的传播，国家、政府和教育部门也开始着手制止使用这种服务，并呼吁要谨慎使用。

首先，在教育领域，学生写报告或论文，如果利用聊天 GPT 等方式就可以瞬息即成，无需学生再去努力和思考。此外，对于学生提交上来的东西，也搞不清它是不是靠自己的能力制作出来的，这样一来教师就很难对其进行评价，进而学术领域本身的意义也将会发生彻底动摇。在日本的主要大学也随之发出声明，禁止在论文和报告中使用生成式人工智能，提交的论文若是由生成式人工智能制作出来的将被视为作弊行为并受到处罚。

而最令人担忧的是，随着这种生成式人工智能的出现，有些工作岗位将会消失，一些人也将会失去工作。据一家大型 IT 公司的负责人说，由于人工智能和自动化，未来五年内将有 30%的行政人员不再需要。

即便是在娱乐界也有人表示担心，人工智能的声音会威胁到配音演员和播音员的饭碗。此外，据说人工智能不仅在声音上，还可以根据录制人物的面部和动作，改变年龄和性别，生成虚构演员的视频作品。当然，动画和歌曲也可以自动生成。这意味着即使没有

や詩歌、小説を書くこともできるといいます。その他にもＰＣのプログラミングや表計算ソフトの関数を記述することもできるそうです。しかも、このチャット GPT は数千億から数兆ともいわれる膨大な単語をネット上のニュースなどから収集しているので、その豊富な語彙力を元にとても自然なことばで表現できるのです。

ただし、収集されているネット情報には、もともとフェイクニュースや間違った情報もたくさんあるので、チャット GPＴが作り出す情報の中には間違った情報もあり、回答については事実確認が必須です。今後、利用者が増え、間違った情報が是正されていけば、AI はさらに学び続け、回答の精度は上がっていくと言われています。しかし、現在の状況では、無意識に、あるいは意図的にＡＩに作成させたフェイクニュースが拡散されてしまう可能性が大きいので注意が必要です。その他にも、個人情報の流出や著作権侵害も問題視されています。

このチャット GPT は 2022 年の 11月にサービスを提供し始めて、わずか 2 か月で利用者が 1億人を突破したそうです。あまりに急速な広がりの中で国や行政、教育分野でも利用にストップをかけたり、使用上の注意が呼びかけられたりしています。

まず教育の世界では学生のレポートや論文も、チャットＧＰＴなどを利用すればあっという間にできてしまい、学生としての努力や思考が要らなくなります。また、学生が自力で作成したかどうかもわからない提出物では、教員が評価するのが難しくなり、学問の場の意味が根底から揺さぶられることになります。日本の主要大学でも、早速、論文やレポートで生成ＡＩを利用することを禁止し、生成ＡＩが作成した論文を

真人演员、配音演员、动画师或剧作家也可以创作出一些相对不错的作品来。当然，人类对其结果是否满意，另当别论。

这样被人工智能夺走的工作并不限于一些简单的操作，而且还波及到被认为是创造性工作的领域。创造性工作还包括代表高度专业化职业的律师、会计师，以及医学界等的领域。这些领域也可能会有一些部分被人工智能所代替。

围绕生成式人工智能仍然面临诸多挑战，西方国家正试图通过暂停或禁止访问聊天 GPT 来谨慎地把握人工智能社会的发展方向。

在日本，一些地方政府、行政部门和企业认为“它有望解决劳动力短缺等问题，从而提高劳动生产率”，对采用此项技术有些急于求成，陆续将其纳入日常工作。

生成式人工智能可以轻而易举地完成令人惊叹不已的事情。操作起来也很容易，对用户发出的所有指令都毫无怨言，有问必答，非常令人轻松舒坦，因此要想遏制住使用它，想必不是那么容易的吧。然而，我们不能忘记的是，人工智能世界是基于数据的积累，而生成的东西最终也只是对过去的模仿、组合或统计结果。它不同于人类所生活的现实世界，从头开始思考事物、再去创建新事物，绝非仅仅依靠数据。另外，对一个主体不明的生成式人工智能所产生出来的结果，由谁来负责？如何负责？我们又该如何防止那些恶意使用的行为？诸如此类问题，都还有待于使用规则的制定。

面对目前快速发展的生成式人工智能，如果就这样毫无抵制、毫无警戒地接受利用它，那么当我们醒悟过来的时候，也许会感觉失去了什么东西。至少，我们从现在就应该明确认识到自己使用的产品是什么性质的，使用之后会带来什么样的风险。现在人工智能的趋势似乎已是不可逆转，那么我们人类应该如何与它相伴而生呢？真心希望创造丰富

提出した場合は不正行為とみなして処罰する等の声明を出しました。

そして、何より危惧されていることは、生成 AI の登場で仕事がなくなり、失業する人間も出てくるだろうということです。あるＩＴ大企業の責任者によると、事務管理部門の従業員のうち今後5 年で 30％が AI や自動化で要らなくなる、ということです。

芸能の世界でもＡＩ音声により声優やアナウンサーなどの仕事が脅かされると声を上げる人もいます。また、AI は声だけでなく収録された人の顔や動作を元に、年代や性別を変えて架空の役者による映像作品を生成することもできるそうです。もちろんアニメや歌なども自動生成できます。つまり生身の役者や声優やアニメーター、脚本家がいなくてもそれなりのものができてしまうということです。もちろん、その結果に人間が満足するかどうかは別ですが。

このように AI が奪う仕事は単純作業だけではなく、クリエイティブな仕事といわれる分野にも広がっています。後者の他の例として、専門性の高い職業の代表格である弁護士や会計士、医療の世界でも AI が肩代わりできる部分がかなりあるといいます。

生成 AI をめぐってはまだまだ課題も多く、欧米諸国ではチャット GPT への アクセスを一時停止したり禁止したりして、AI 社会へのかじ取りに慎重になろうとしています。

日本では「人手不足への対応など労働生産性の向上が期待できる」と利用に前のめりで、日常業務に積極的に取り入れる自治体や行政分野、企業も次々に出てきています。

生成 AI はいとも簡単に、人間が目を見張るようなことをやってのけます。操作も簡単で、あらゆる指示に文句も言わずに応じてくれる気楽さがあるので、利

多彩的生活和人生的主动权不让 AI 给夺走。

……

※生成式人工智能制作的图像例子
(要求“画一幅 a)梵高风格的、和 b)水彩画风格的夏末风景画”，下面的两张图片就出现了)

a)

b)

用に歯止めをといっても難しいでしょう。しかし、忘れてはいけないのは AI の世界はデータの蓄積を元にしているので、生成されたものは結局、過去の模倣や組み合わせや統計的結果でしかないということです。人間がデータだけでなく、実在の世界に生きて ゼロから思考して、創造する世界とは違います。また、主体のはっきりしない AI が生成した結果に誰がどう責任を取るのか…。悪意を持った利用意図をどう防げるのか…、利用のルール作りはまだまだこれからなのです。

今、加速度をつけて広がる生成 AI、このまま無抵抗に受け入れ、気づいた時に失っているものはないでしょうか？少なくとも、使用する側は自分がどんな性質のものを利用するのか、利用した結果のリスクにはどんなことが考えられるのかは理解しておかなければならないでしょう。もう後戻りはできないであろう AI 世界との付き合いの中で人間はどう生きるのか？生活や人生の豊かさを作る主導権は、人の手から奪われないようにしたいですね。　(bab)

※生成 AI が作った画像例
「夏の終わりの風景を、a)ゴッホ風に、b)水彩画風に描いてください」と注文したら左の画像が出てきました。